



1 雲海の上が絶景です
2 福岡→天草便では湯島や、松島の島々も見えます
3 雲仙岳を上空から見るができます
4 座席が48席に増え、一部リクライニングができるシートもあります。照明が明るく、手荷物収納が広くなりました



「みぞか号」の魅力を経験してみませんか

天草エアライン(株)の新機体ATR42-600型機(愛称:ATRみぞか号)、昨年2月20日に就航し間もなく1年を迎えます。

この天草エアラインは、天草地域と熊本・福岡都市圏などを結ぶ唯一の高速交通機関。天草地域の経済、観光、地域振興のほか、通勤する医師などの交通手段として重要な役割を果たしています。12月末までの利用者は72、752人、初代DHCI8と合わせると127万人を超える人に利用され、皆さんに親しまれています。

祝1周年



空からの景色を楽しみましょう

ATRみぞか号は、12月から電波を発しない電子機器を機内で使うことができます。これによりデジタルカメラやスマートフォンを機内モードに切り替えて、上空からの写真を撮影することができます。

悪天候時の就航率改善に期待

これまでは、悪天候時は天草空港南側(本渡側)からの着陸進入しかできませんでしたが、ATRみぞか号はGPSでの航法により、空港北側(五和町側)から直線的な着陸進入が可能になりました。これにより悪天候時の就航率の改善が期待されます。

利用促進事業

市では、市民の皆さんにATRみぞか号の良さを体験していただく利用促進キャンペーンに対して助成を行っています。今年度実施した「平日体験搭乗キャンペーン」や「ファミリー&グループで福岡へ行ってみようキャンペーン」などは12月末までに4、126人が利用されています。

今後も、引き続き利用促進事業を行ってまいりますので、ぜひ乗ってみて魅力を実験してみてください。

【問い合わせ先】本庁・地域政策課(天草宝島国際交流会館ポルト内) ☎276000

ATRみぞか号就航1周年記念イベントのお知らせ

天草エアライン(株)では、ATR42-600型機(愛称:ATRみぞか号)が、平成29年2月20日に就航1周年を迎えるにあたり、「ATRみぞか号就航1周年記念イベント」を開催します。

●とき：2月19日(雨)決行 ●ところ：天草空港 交流広場・ターミナルビル

●イベント内容(予定)

▶午前10時～(雨天時は同11時～)

【天草エアライン “まにあっクイズ” 日本一決定戦】※事前申し込みが必要です。

▶午後1時30分～【天草エアライン オークション】

▶午後2時～【天草空港恒例 景品付き!! もち投げ】

※天草空港マルシェも同時開催。 ※丹羽お琴教室の演奏会も開催します(午後3時～ 空港内“みぞか図書館”)。

※当日は、天草空港駐車場の混雑が予想されますので、できるだけ車で乗り合わせてお越しください。

※同記念イベントにあわせて、現在、天草エアラインでは「ATRみぞか号就航1周年記念フォトコンテスト」を実施中です。詳しくは、天草エアラインホームページ(<https://www.amx.co.jp/>)をご覧ください。

問い合わせ先：☎0969-34-1515 (天草エアライン予約センター)

利用者の声

しいやま ふみこ
椎山 二三子さん (写真左)
(本渡町本渡)

※年末、福岡に7時55分天草発(101便)で行き、帰りは16時55分福岡発(106便)を利用。



「ファミリー&グループで福岡へ行ってみようキャンペーン」に当選しました。職場の人たちと一緒に日帰りで福岡旅行に行き、私たち家族は天神などでショッピングを楽しみました。

今までは福岡に出かけるときは自家用車を利用していましたが、今回初めて天草エアラインを利用しました。移動時間が短いため、滞在時間も長く、日帰りでも十分ショッピングを楽しむことができました。また、福岡市内は公共交通機関の便が良いので車がなくても大丈夫。

雨天だったので、雲の中を通るときに少し揺れましたが、乗り心地も良く、白い雲の上を飛ぶ飛行機から朝日と夕日が見えてとてもきれいでした。